

平成 23 年度京都教育大学外部評価について

国立大学法人京都教育大学では、この度、学外の有識者を委員として、本学の教育・研究活動全体を対象とした外部評価を実施しました。その実施理由は、以下の三点です。

- 1) 平成 24 年度に受審予定の大学機関別認証評価を見据え、本学の現状及び課題について、客観的な視点から検証する。(このため、外部評価の資料となる『自己評価書』は、審査を依頼する予定の大学評価・学位授与機構が示す 10 の評価基準に沿う形で、平成 23 年 9 月末日時点の状況について記した。)
- 2) 平成 18 年度に受審した大学機関別認証評価や、国立大学法人評価委員会による第 1 期中期目標期間中(平成 16~21 年度)の評価結果等から明らかになった課題等に対するその後の改善の状況について、点検を行う。
- 3) 本学の教育・研究における取組を学外に公表し、広く社会の理解を得る。

外部評価を実施した結果、本学が教育・研究の質保証を中心に考えていたのに対し、4 人の委員からは、様々な視点や角度からのご意見をいただきました。改めて、教育界全体を見渡した包括的な視野を持って、教育研究や運営に取り組む必要性を実感しました。ご指摘いただいた諸課題については、真摯に受け止め、教育・研究活動に還元していきたいと思えます。今後もより質の高い教育研究を通じて、社会に貢献できる有能な教育者を輩出することができて、「地域に開かれた教育の総合大学」としての役割を果たしていく所存です。

今回の外部評価を一つの契機に、本学の教育研究活動をさらに充実・発展させるため、教職員一同いっそう努めます。

平成 24 年 3 月

京都教育大学長 位藤紀美子